

手づくりの灯りが街を彩る  
アイスキャンドル点灯まつり開催

2月7日、さんさん館を会場に、冬の恒例イベント『第4回つべつアイスキャンドル点灯まつり』が開催されました。町民手づくりのアイスキャンドルが灯る幻想的な雰囲気の中、訪れた人たちは屋台とカフェコーナーで販売された温かい食べ物やドリンクを楽しみました。また、キャンドルナイトコンサートでは、遠軽町の社会福祉法人北光福祉会・向陽園のミュージックサークル「ハモロ」によるトーンチャイムの演奏や、旧女満別町出身の歌手アキオカ・マサコさんのギター弾き語りなどが行われ、会場は多くの人でにぎわいました。



活潑小リコーダーアンサンブル&REC  
そろって全国大会出場へ

1月26日、活潑小学校リコーダーアンサンブルとRECつべつのメンバーが役場を訪れ、佐藤町長らに第29回全道リコーダーコンテストにおける入賞と、全国大会への出場決定を報告しました。

活潑小は小学校4重奏部門で金賞を受賞、一般合奏部門に出場した町内のリコーダー愛好サークル・RECつべつも見事に金賞と研究会会長賞を受賞し、そのレベルの高さを示しました。



両グループは、3月下旬に東京で開催される第36回全日本リコーダーコンテストに向けて、更なる向上と大会での健闘を誓っていました。

2年連続交通事故死亡事故ゼロを達成  
美幌警察署長が関係団体へ感謝状

美幌警察署管内（美幌町、津別町）で、2年連続交通事故死亡事故ゼロを達成したことを受け、江川清人美幌警察署長から町内の関係8団体に感謝状が贈られました。2月5日、町長室で行われた贈呈式には、津別町交通安全推進委員会、津別町交通安全協会、津別ライオンズクラブなど6団体の代表が出席。江川署長が一人ひとりに感謝状を贈り、日ごろの活動に対する感謝の言葉を述べました。津別町では町内での事故死ゼロが平成22年3月21日から、町民による事故死ゼロが平成18年9月23日から続いており、更なる継続を目指しています。



津別町産の安心食材を子どもたちに  
学校給食用に有機ジャガイモのフライドポテトを寄贈

津別町有機農業推進協議会（山田照夫会長）から教育委員会に、有機ジャガイモのフライドポテト24kgが寄贈され、2月10日、教育長室で贈呈式が行われました。

同協議会が試験的に栽培した有機ジャガイモ（さやあかね）を使ったフライドポテトで、給食を通じて子どもたちに津別の有機農業への取り組み知ってもらいたい、との思いから寄贈されたものです。



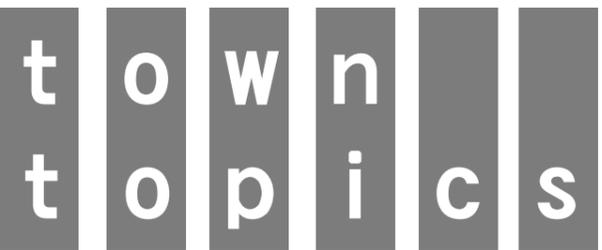
ファイターズの応援大使を激励  
町長らがキャンプ地訪問

津別町が北海道日本ハムファイターズの「2015年北海道179市町村応援大使」事業の対象に選ばれたことを受けて、町長とファイターズ応援大使津別実行委員会（津別O・N隊）の大東勲会長が、球団の春季キャンプを激励に訪れました。



写真提供：(株)北海道日本ハムファイターズ

2月7日、一軍のキャンプ地・沖縄県名護市宮球場で、津別町応援大使の中田翔・大嶋匠両選手に、町と町農業協同組合による、つべつ和牛20キロとオীগニック牛乳60本を贈呈。目録パネルを手渡された中田選手は、「いろいろな形で津別町をPRしたい」、大嶋選手は、「一軍で結果を出して津別に伺いたい」と抱負を話しました。



まちのわだい

美幌消費者協会の白石会長を招き  
津別高校で消費生活講話

津別高校をこの春卒業する3年生を対象に、1月30日、美幌消費者協会会長の白石さんによる消費生活講話が行われました。白石さんは「社会経験が少ない若者には、いろんなトラブルが待ち構え、被害が急増している。被害に遭わないための知恵や対処法を知ってもらいたい」と話し、①契約の原則②携帯電話の出会い系サイト③アダルトサイトのワンクリック請求④インターネット通販⑤携帯電話の名義貸し⑥ニセサイトなど、近年の事例や会長本人の体験事例を交えそれぞれの対処法を生徒にアドバイス。「被害にあった時は、一人で悩まず警察や消費者協会に相談してほしい」と呼びかけました。



地域おこし協力隊隊員が津別町に来て学んだこと、感じたことをつづります。

「16 つべつの宝物  
カラマツ黄金街道」

檜山 栄味子  
暴風雪の翌朝、降り積もった雪がダウンジャケットの羽のような軽さで驚きました。

一昨年、夫と映画『許されざる者』を観ました。この映画は、オール北海道ロケで、大画面いっぱい北海道の雄大な風景に感激していると、夫が「背景にカラマツが写ってなかった。すごい」と感動していました。カラマツは北海道には自生していません。この映画の舞台・明治初期の背景にカラマツはないはずですが、ちゃんと時代考証していたのでしょうか、カラマツ植林地の多い今の北海道では撮影は大変だったと思われまます。

さて、札幌に暮らしていた頃、イメージしていた道東の景色には、カラマツの林がありました。津別に来て最初のカラマツの黄葉の時期に車で

出かけたときのことです。道すがらずっと続く黄金色のカラマツの美しさに「さすが道東」と感動するとともに、「あんな奥までカラマツが植えられているんだ」とその広大さに改めて驚き、森を切り拓いて、一本一本カラマツを植えた人々を想像して、圧倒されました。

寒暖の差が激しいからか、津別のカラマツはくつきり黄金色で一番美しいように思います。昨年の秋は、ハバチの害で、色づきが今一つで残念でしたが、今年こそはカラマツの黄金街道を楽しみにしています。

でもその前の、やわらかい緑色のカラマツの春の芽吹きが待ち遠しい、今日この頃です。

